

本日の意見交換会について（メモ）

20210630

（二会の本日の連絡役として）
公益社団法人 日本建築家協会
関東甲信越支部 中野地域会
代表 白江龍三

0. 会合の進め方について

中野駅新北口エリア再整備計画は、サンプラザの解体を契機として各方面の大きな関心を集めました。そして、再整備事業計画策定の過程で区が設置した区民会議での熱心な議論をはじめ、一般区民から要望、あるいは専門家団体＜日本建築家協会(JIA)中野地域会)、東京都建築士事務所協会 TAAF 中野支部＞からの要望や陳情など、多くの人の熱意や建議を重ねて今日に至っています。ちなみに陳情は計3本とも、議会にて採択されています。

私どもは本日の意見交換会では、これらの要望・陳情等がどこまで反映されてきたのか、また今後はどうなのかを前提として知りたいと考えています。

つきましては、まず議論の大きな分岐点になる2つの事項について質問させていただき、その後事業施行予定者の方より提案全体のご説明をいただき、最後に質疑応答の形で、要望や陳情等の項目についてどのように対応されるのか、ご説明いただきたいと思います。

1. 施工者による計画案の説明を受ける前に確認したい事項

① 近隣住民、区民、関係専門家（JIA、TAAF）、その他本計画に関心がある方々とのコミュニケーションはどう確保するお考えか。

特に、巨大なプロジェクトが出来上がってからではなく、長きに亘るであろう工事中から、入居候補者や近隣商業者、あるいは感心のある区民等で、たとえばコンテンツに関する催し設けるなど、助走しながら巨大プロジェクトを立ち上げることが、区民にとってはお仕着せにならず、事業施行者にとってもメリットは大きく、ここから先のコミュニケーションのシステムが重要と考えます。

② 中野区のほうからは今回のプロポーザルは、あくまでも事業施行者の選定であって、建築物のデザインや、デザイナー・アーキテクト等を選任するかどうかについては、別途行われるとの説明をいただいていたが、そのように理解してよろしいでしょうか。

- ・ 区民会議の段階では、「デザイン過程はプロポ後」という趣旨の説明がなされていた。
- ・ 専門家団体と中野区所轄との意見交換の際も、具体的な話が出た際には「建築のプロポではなく、事業プロポなのだから」として議論の対象にならなかった。
- ・ 募集要項にても：

「施行予定者の役割 （2） 施行予定者の役割

本募集は、いわゆるコンペ方式（設計競技）といわれるような、設計案を採用するものではありませんが、施行予定者は、本募集における提案内容をもとに、関係権利者及び関係機関等と協議、調整を行いながら・・・＜以下略＞」

「事業実施にあたっての留意事項 （4） 施設等の設計に係る留意事項

本事業の今後の設計を進めるにあたっては、令和2年度（2020年度）策定予定の中野駅

駅前広場デザイン等整備方針と整合することを求めます。設計にあたっては、中野区や学識経験者、その他関係者等と協議・調整を行いながら進めるものとします。」

2. 施工者よりの説明

計画内容のご説明をお願いします。

3. 質疑（陳情により担保されている内容の確認）

JIA、TAAF 両団体の要望の中で、特に議会採択された陳情（特に以下の点）について見解を頂きたい。

3-a.

2017/02/06 JIA 陳情（3/27 採択） 添付資料あり

・「区役所・サンプラザ地区の再整備を独自性・先進性に富むものとするについて」

2017/08/30 TAAF 陳情（改題の上、12/12 採択）

・「区役所・サンプラザ地区の再整備にあたり専門家集団との意見交換の場を設置することについて」

<注：これらをふまえて、二会と区との意見交換の場がスタート、今回に至っている。>

3-b. 2019/11/19 連名陳情（採択。その第4項：） 添付資料あり

・「選出された者が事業内容やその形姿を具体化するに際し、区民や利用者あるいは各分野の専門家との意見交換が十分にできる事業体制を整える」

4. サンプラザの「DNA」に関する意見の紹介

以上